

大空の子

学校教育目標

- 知恵をみがき
- 清い心をはぐくみ
- 身体をきたえる子

令和元年12月12日(木)
帯広市立大空小学校
校長 川上 裕明

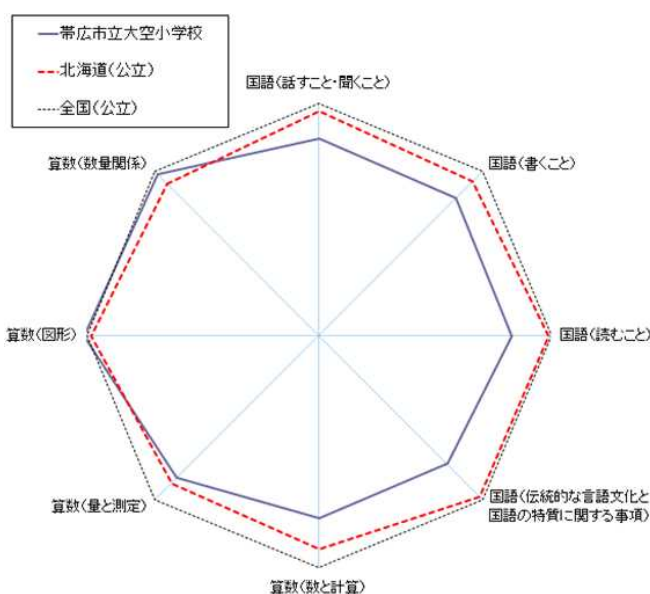
全国学力・学習状況調査を振り返って

4月に全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」、本校児童の結果について概要をお伝えします。

国語 ○平均正答率は、**全国・全道を下回**りました。昨年の本校と同様の傾向です。

○領域別に見ると、「話す・聞く」「書く」「読む」「伝統的な文化と国語の特質」全てで、全国・全道を下回っています。記述式の問題で、その差はより大きくなっています。

○「**正答数の少ない層の割合**」が**全国・全道より多く**、昨年の本校より増加しています。



算数 ○平均正答率は、**全国を下回り**、**全道とほぼ同じ**でした。昨年の本校より向上しました。

○領域別に見ると、「数と計算」「量と測定」では全国・全道を下回りましたが、「図形」では全国・全道を上回りました。「数量関係」は、全国とほぼ同じで全道を上回りました。

○「**正答数の少ない層の割合**」が**全国・全道より多く**、昨年の本校より増加しています。

児童質問紙からわかる学習状況等

○「自分にはよいところがある」「将来の夢を持っている」の設問では、「当てはまる」の回答が全国を大きく上回りました（「よいところがある」5割以上、「夢を持っている」約8割）。

○「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」の設問では、9割近い児童が「当てはまる」と回答しました（全国は74%）。

○「いじめはどんな理由があってもいけないことである」の設問には、児童全員が「あてはまる」と回答しました（全国は97.2%）。

○「家庭学習時間が1時間に満たない」児童が半数近くいます（全国は34%）

今後に向けて

- 結果は、4月の自己採点結果と9月の分析結果ともに、6年生の授業を担当する教員だけでなく全校の教員で共有して、それぞれの学年での授業改善に臨んでいます。
- 今年度は、学習支援担当の教員を加えた習熟度別の算数授業や、自学用プリントの提供も行っています。中・高学年で学年内の教科担任制を一部取り入れて、授業研究をより深めるとともに複数の教員で児童の学習を支援しています。
- 学校で学んだ事項をより確実に定着させるため、家庭学習習慣のさらなる向上に努めます。
- 正義感と自己有用感をベースに、より社会で活躍できる人材となれるよう、学級活動や学校行事を通じて、意欲と能力の育成に努めます。
- 学校が、児童が安心して過ごせる「心の居場所」であり続けることをベースに、よりより学習環境を創造・維持します。

◇◇校長室から◇◇ 「卒業証書授与式」とは？

「札幌市の小学校では卒業式に袴を着てくる女子児童が多く、学校によっては女子の半数以上が袴着用である」「男子の袴姿も増えてきた」と耳にしています。貸衣装の予約は、場合によっては1年以上も前から始まるとか。今年はどうな様子になっているのでしょうか。

日本国内の多くの小学校は、制服を定めていません。だから小学生が「小学校最後の登校となる卒業式には、いつもより改まった服装で臨みたい」という気持ちは偉い。TPOに合わせて服装を選ぶことは大人になっても重要ですし、袴姿も近年はかなり身近なものになっています。帯広市内小学校の卒業式でも、女子児童の袴姿がチラホラ見られたとか。

しかし、大空小学校の卒業証書授与式、私は児童に袴を着てきてほしくないのです。



「はかまレンタルは高額」「優越感や劣等感もついて回る」「髪も含めると準備が早朝から大変」「トイレ行くにも一苦労」「着崩れたら自分で直せるのか」……と想定される様々なデメリットを抱えながら、児童が「大空小学校で受ける最後の授業」に臨むことは、決してTPOに合わせた行為ではないと考えます。

帯広市の小学校では、毎年ほとんどの児童が「自分が進学する中学校の制服」で卒業式に臨んでいます。冷静に考えると「中学校の制服を小学生が小学校で着る」ことへの疑問もないわけではないのですが（……）、小学校の教員としては「教え子が小学校を終えて、中学生として立派に旅立とうとしている姿」を目の当たりにして、感動が一層強まる瞬間でもあります（[中学校の先生方、一歩先にごめんなさい](#)）。

今の6年生が中学校に入学するこの春から、大空中学校の制服は新しいモデルになります。やがて「大空学園義務教育学校の『初代最高学年』」となるみなさんの新しい制服姿が見られる令和2年3月の卒業証書授与式を、今から楽しみにしています。



インフルエンザに注意 引き続き……

本校でも多くの児童が罹患し、1年生は学年閉鎖にもなりました。流行はちょっと落ち着いてきたようですが、なんとか健康で年末年始を迎えたいものです。